

MARANT SPRING 2027

クリエイティブディレクターのKim Bekker (キム・ベッカー)が手がけたMARANT(マラン) 2027年スプリングコレクションは、世界中でつくられてきたワードローブについての探求です。ソウルからイビサ、ロサンゼルスからタンジェ、アムステルダムからアリゾナへ——そして最後には、それぞれが「ホーム」と呼ぶ場所へ帰っていく。「ひとりの男性のスタイルには、実にさまざまな側面があることを表現したかったのです」とBekkerは語ります。「彼は世界中を旅しながら、あちこちで少しずつアイテムを集めてきました。そして、それらは長く使い続けられ、これからもずっと色褪せることのないピースなのです。」

MARANTの2027年スプリングコレクションは、自分が愛するものを少しずつ集め、積み重ねていくことで生まれるスタイルと、その積み重ねから誰もが自分らしいルックを完成させられることを描いています。Bekkerは、身体に寄り添うストレートなレイヤードシルエットを軸に、軽やかなテラリングと、よりスポーティなムードを持つアイテムを組み合わせています。カラーパレットは、サンド、ブラウン、ラスト、レッド、グリーン、そしてシャンプレーやデニムのブルーで構成されています。やわらかくシワの入ったシャツジャケットに、シャープなフロントプリーツ入りのツイルパンツを合わせ、ウエストには複数のコードベルトを絡ませます。使い込まれたような表情を持つスナップボタン仕様のレザージャケットや、ゆったりとしたユーティリティブルゾンは、長く愛される一着となるようデザインされています。フェード感のあるグランジチェックシャツやボーダーTシャツは、MARANTを象徴する定番アイテムとして、どんなワードローブにも取り入れやすいように作られています。またブランドを代表するニットウェアは、リラックスムードやフォークロア、クラフト感を感じさせるデザインが特徴的です。2018年ウィメンズコレクションのアーカイブの一着から着想を得た、大胆なカラーブロックのセーターも登場します。

これらすべてのルックには、新しいグラフィックランニングシューズスタイルのスニーカー「TK」と、たくさんのジュエリーが合わせられています。ボヘミアンな雰囲気を持ち、旅の途中で見つけたものようでもあり、あるいは父から息子へと世代を超えて受け継がれてきた家族のヘリテージのようでもあります。それは、Bekkerが年齢という枠にとらわれないブランドとしての在り方を示すものです。

Brett Lloyd (ブレット・ロイド)が撮影したビジュアルに登場する男性たちのキャスティングもまたとても個性的です。フランス人デザイナーのBachir Mbaye(バシール・ンバイエ)、イタリア人アーティストのTito Rapetti(ティト・ラペッティ)、フランス人シンガーのHervé(エルヴェ)、スイス人モデルのJesse Rinderknecht(ジェシー・リンダークネヒト)、そしてポルトガル人アーティストのNuno Marques(ヌーノ・マルケス)が起用されています。彼らの日常を親密に垣間見るようなものになるよう意図されています。「彼らがそれぞれの世界にいる姿を見せたかったのです」とBekkerは語ります。「コレクションのすべてが現実の暮らしから引き出されたように感じられたことから、それを纏う人物もまた同様にリアルで、自らの人生を生きる男性たちであることが自然だと感じられました。」

Photographer: Brett Lloyd

Style: Imruh Asha

Models: Hervé, Bachir Mbaye, Tito Rapetti, Nuno Marques, Jesse Rinderknecht

Press Contact - Seiya Nakamura 2.24 Inc.

MARANT

**MARANT
SPRING 2027**



MARANT

**MARANT
SPRING 2027**



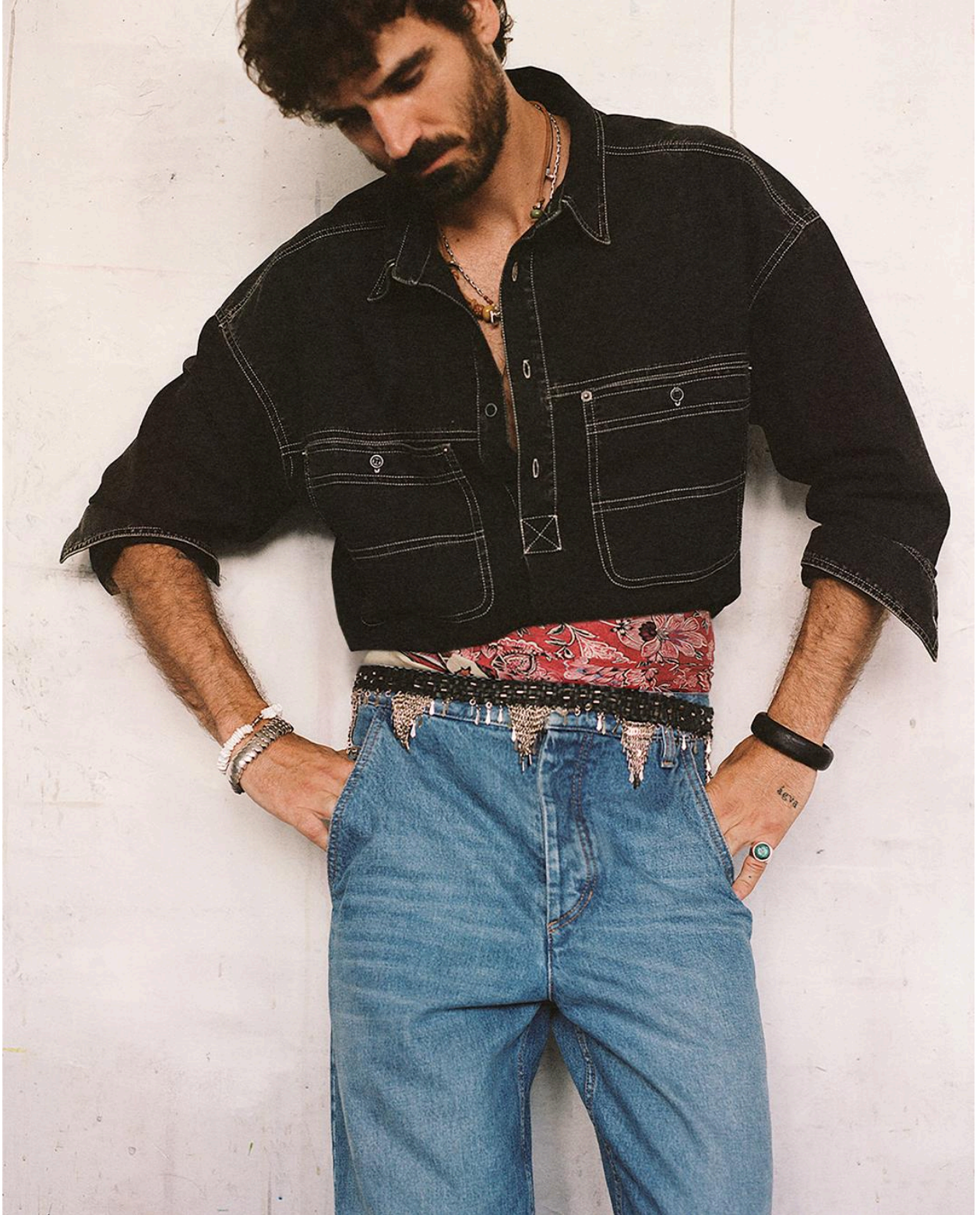
MARANT

MARANT
SPRING 2027



MARANT

**MARANT
SPRING 2027**



MARANT

**MARANT
SPRING 2027**



MARANT